

○身は是れ菩提樹こぼだいじゆ

心は明鏡台めいきやうだいの如し

時時に勤めてつと払拭ふつしきせよ

塵埃じんあいを惹ひかしむること勿なかれ

(神秀じんしゆうの偈げ)

○菩提ぼだい、本より樹き無し

明鏡めいきやう、亦また台だいに非あらず

本来ほんらい無むい一物いちぶつ

何れの処ところにか塵埃じんあいを惹ひかん

(慧能えのうの偈げ)

【六祖法宝壇經ろくそほうぼうだんきやう】六祖慧能ろくそえのう (佛教)

○弥勒みろく祖師そしは、妙法みやうほう無む辺へんにして

叩たたかれても手を返さず、罵ののしられても口を返さず

力を尽くし、心を尽くして人の成功を助け

報むくいを求めず、我のものは一つも無し

高山こうざん愚ぐ人じん

○道德すなわは即すなわち真理

真理は即すなわち良心

良心は法律こを超え

真理は天下たいを平たいらぐ

高山こうざん愚ぐ人じん